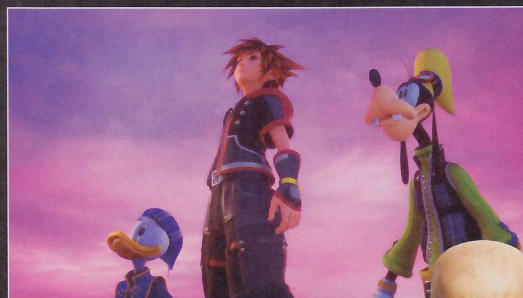
『キングダム ハーツIII』をさらに楽しむための知識がここに――
KINGDOM HEARTS III
『キングダム ハーツIII』プレリュード
Prelude

最新情報+冒険の基礎知識をまとめてチェック!

2013年6月に第一報がもたらされてから約6年。1作目から続いている物語“ダークシーカー編”の最終章として、まさに集大成と呼べるクオリティと内容で作り上げられた『キングダム ハーツⅢ（以下ＫＨⅢ）』が、2019年1月25日、ついに発売を迎える！　本書ではゲームの発売にさきがけ、現在までに明かされている冒険の舞台とバトル関連の要素を紹介。さらに『ＫＨⅢ』を遊びつくすための基礎知識として、登場人物や組織、そしてシリーズのつながりについても詳しく解説しよう。

ソラたちの冒険は終着点へ

マスター・ゼアノート

キングダム ハーツⅢ

●PS4　●2019年1月25日発売　●RPG
●スクウェア・エニックス　●¥8,800（+税）、DL版：¥9,504（税込）、
KHインテグラム マスターピース¥18,333（+税）、DL版¥15,600（+税）※

World Guide

KINGDOM HEARTS III

「アナと雪の女王」をはじめ、「塔の上のラプンツェル」や「モンスターズインク」など、新規のワールドが続々追加。それぞれのワールドで繰り広げられる冒険とともにチェックしていこう！

マシュマロウ

アレンデール

「アナと雪の女王」が舞台の世界

ソラたちが雪山で出会ったエルサは悲しげな表情を浮かべ、人を寄せ付けないでいた。エルサのことを放っておけないソラたちは彼女を追うが、その途中で真XIII機関のラクシーヌに遭遇。ラクシーヌはエルサの動向に関心を寄せているというが、その狙いとは……。

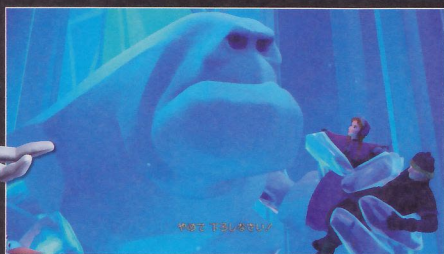
キーブレードがスケート靴のような形状に！

▲雪上を軽やかに滑りながら、豪快な足技で攻撃することができる。

▶氷の城で、雪男のマシュマロウと出会う。

◀エルサを守ろうとしていたのか、マシュマロウと共闘することに。

アナ

エルサ

エルサを捜すアナとクリストフ

▲小さいころは、姉のエルサと仲よしだったと語るアナ。その後、2人の間に何があったのか？

オリンポス

「ヘラクレス」が舞台の世界

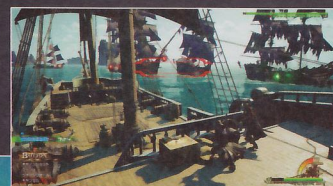
おなじみの「オリンポス」だが、今回はコロシアムではないようだ。ここでソラはヘラクレスから「ヒーローとは何か？」ということを再び学ぶことに。

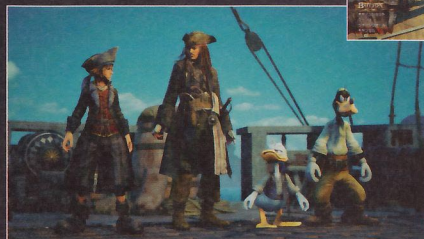
タイタン族に立ち向かえ！

▲▶ヘラクレスの父で天界の王ゼウスも登場。ハデスは復讐を果たすべく、タイタン族を目覚めさせる！

ザ・カリビアン

「パイレーツ・オブ・カリビアン」が舞台の世界

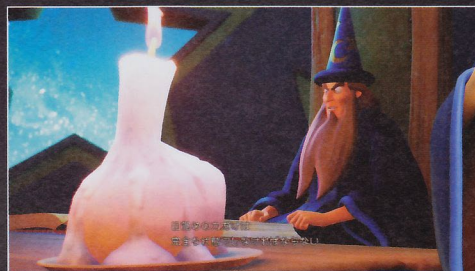
実写さながらの映像がパワーアップして「パイレーツ・オブ・カリビアン」のワールドが再登場。船上戦、海中戦、空中戦、さらに砲撃戦も！ 映像美に加え、バトルも見どころだ。

海賊衣装にチェンジ ジャックと共闘だ！

◀▲敵艦に対して砲撃。さらに錨(いかり)を発射してそこを渡り、敵艦に乗り移って戦うことも。大海原を舞台に壮絶な激闘が繰り広げられる。

※『KH -HD 1.5+2.5 ReMIX-』『KH -HD 2.8 Final chapter prologue-』『KHIII』の同梱セット。
パッケージ版はスクウェア・エニックス e-STORE限定、DL版はPlayStation Storeで販売（予約購入後はすぐに『KHIII』以外の2作をダウンロードしてプレイが可能）。

不思議な塔

The Mysterious Tower

王様

王様の師匠で、元キーブレードマスターの偉大な魔法使いイェン・シッドが住む塔。古くから光の世界を見守り、これまでに多くのキーブレードの使い手たちに助言を与え、その険しき旅路を導いてきた。『ＫＨⅢ』でも、この地を訪れるソラ、王様、リクに、各地で暗躍する真XIII機関の動きを教えてくれる。

▲失われた力を取り戻し、目覚めの力を完全なものにするため、ソラたちは旅立つ。

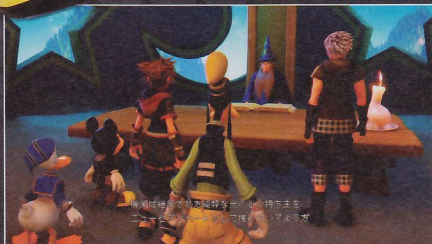
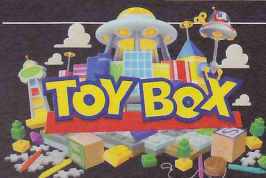
イェン・シッド

ジミニー

真XIII機関の目的が明らかに！

▶真XIII機関は、各地で純粋な光の心を持つ者を"ニューセブンハート"として捜しているとのことだ。

トイボックス

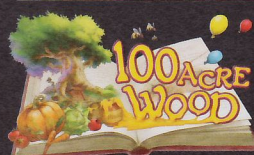
TOY BOX

「トイ・ストーリー」が舞台の世界

ウッディから、最近になってハートレスが現れ、仲間たちが姿を消し、さらに黒いフードをかぶった人影を見たと聞く。ソラたちは協力を求められ、ともに異変の調査に乗り出す。

▲▶ウッディたちと力を合わせ、異変の原因を調べていく。おもちゃ屋では、ロボット型のおもちゃに乗って戦う場面も。

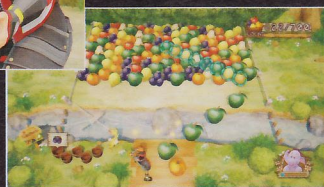
小さなおもちゃの姿で巨大な世界へ……

100エーカーの森

100 ACRE WOOD

「くまのプーさん」シリーズが舞台の世界

魔法使いのマーリンから"プーが住む絵本"の表紙に異変が起きたと伝えられたソラ。その原因を突き止めるため、100エーカーの森を訪れるのだった。

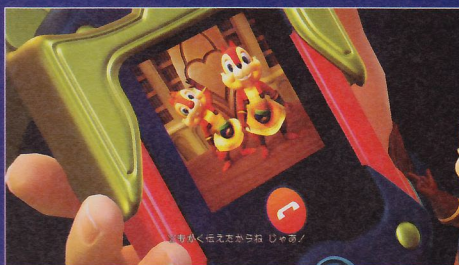
プーたちに話を聞いてみよう

▲▶何か変わったことが起きていないか、仲間たちに話を聞いて回る。このワールドでは、花畑や果樹園でのミニゲームも楽しめる。

CHECK ソラや王様たちをサポートする頼もしい存在も！

元XIII機関で、ゼクシオンと名乗っていたイェンツォと、チップとデールも登場。彼らの活躍からも目が離せない！

イェンツォ

レイディアントガーデンで研究中

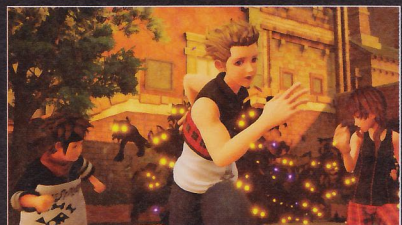
▲ゼクシオンが消滅したことで、ノーバディから人間に戻ったイェンツォ。"心"を解明するための研究を続けている。

ディズニーキャッスルからサポート

▲心を戻す手がかりとなるデータの解析中？ 2人は、モバイルポータルを通して情報などを伝えてくれる。

チップ&デール

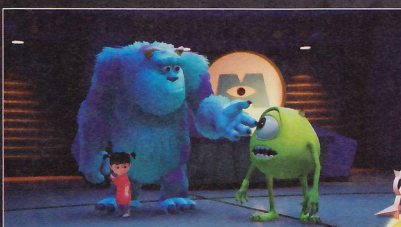
トワイライトタウン

自身の分身ともいえるロクサスを捜し、“たそがれの街”を再訪するソラたち。ハイネ、ピンツ、オレット、そしてモバイルポータルをとおしてイェンツォと協力していく。

“もう1つの「トワイライトタウン」”にロクサスの手がかりが？

◀▲ハートレスに襲われていたハイネ、ピンツ、オレットを救出。ピンツとイェンツォは、賢者アンセムが使っていたコンピュータに手がかりを求めて解析を進めるが……。

モンストロポリス

「モンスターズ・インク」が舞台の世界

人間の子どもたちの“笑い”をエネルギーに変えている会社“モンスターズ・インク”。そこで、人間の小さな女の子ブーをサリーとマイクが脅かしていると勘違いをしたソラは、彼らに詰め寄るのだった。

▲サリーやマイクとたわむれていた様子のブーだが。

勘違いだとわかりブーとも仲よしに

リア

サンフランソウキョウ

「ベイマックス」が舞台の世界

見たことのない大都会に目の色を変えるソラたちは、そこで「この街を守っている」という“ビッグヒーロー6”と出会う。力を合わせてハートレスを討伐するなか、その前に立ちふさがったのは、黒いコートを身にまとったリクの姿だった……。

ベイマックスの背中に乗って空中戦だ！

▶アニメさながらのダイナミックな戦いが繰り広げられる。

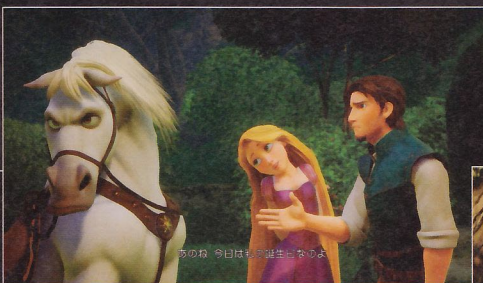
“ビッグヒーロー6”とともに立ち向かえ！

▲科学の力とアイデアで戦う彼らと力を合わせ、街に起こる異変に対処していく。

キングダム・オブ・コロナ

「塔の上のラプンツェル」が舞台の世界

幼い頃から塔のなかで暮していたラプンツェルは、毎年、自分の誕生日に現れる“空飛ぶ灯り”を直接見たいと願っていた。そして、ついにフリンの協力で塔から飛び出すのだが、彼女を追う母ゴーテルに真XIII機関のマールーシャが手を貸す。はたして彼の目的とは……。

▼▶塔から飛び出したラプンツェルに追いつき、「心配していた」と話す母ゴーテル。その必死な形相の裏には、彼女の過去にかかわる秘密が隠されていた。

フリンと馬のマキシマスを説得しラプンツェルは街へ

マールーシャ

ラクシーヌ

Battle Guide

KINGDOM HEARTS Ⅲ

各システムは過去作を踏襲しながらも、すべてが大幅にグレードアップされ、まさに集大成と呼べる『ＫＨⅢ』。戦うことが楽しくなる要素が満載なので、順番にチェックしよう。

フリーランで壁も地面に！

▲本作では、垂直な壁でも駆け上がることが可能。攻撃の起点としても利用できる。

キーブレードの変形 | キーブレードの秘められた力を引き出して戦おう

武器のキーブレードは数種類を装備することが可能で、自由に切り替えながら攻撃できる。キーブレードの変形は、コンボをつなげてから△ボタンで発動。発動後はフォームが変わり、キーブレードごとにド派手な技が繰り出せる。

◀長い槍のようになり、空中から槍の雨を降らせたり、前方に無数の突きを放ったりと高威力の攻撃も繰り出せる。

ツインヨーヨー

▲高速で回転するヨーヨーを飛ばして周囲の敵をなぎ払ったり、巨大化させて挟み込んだりと、変則的なアクションで攻撃できる。

▲ドリル型に変形させ、敵に向かって突進する。また、地面に潜って相手の攻撃を回避したり、地面に突き刺したドリルを出現させる攻撃も可能だ。

▲形状や演出も凝りまくり！「100エーカーの森」で入手できるキーブレードを変形させて攻撃すると、フィールドがハチミツだらけに!?

アトラクションフロー | ダイナミックなライドアトラクションで敵を一掃

テーマパークのアトラクションを呼び出して攻撃する。特定の条件を満たすと発動可能。攻撃方法はさまざまで、体当たりで敵を跳ね飛ばすなど、発動中だけ使用できる強力な攻撃で、相手にダメージを与えていく。

▲きらびやかな電飾で彩られたメリーゴーラウンド。「サウンドウェーブ」を発射して攻撃する。各キャラクターのリアクションもお楽しみに！

連携技 仲間たちと力を合わせて攻撃

バトル中に特定の条件を満たすと、一緒に行動している仲間たちと連携技を発動できる。パーティに加わる仲間はワールドごとに異なるため、技の内容もワールドごとに異なるが、主にドナルドとグーフィーとの連携が楽しめる。

◀ウッディたちとの連携技はロケットを発射。

ドナルドと連携

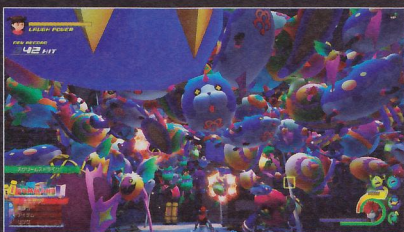
◀魔法で隕石を落とし、広範囲の敵にダメージを与える。

グーフィーと連携

◀盾にソラを乗せて飛び上がり、敵集団に向けて強力な攻撃をたたき込む。

リンク 離れた場所にいる仲間から力を借りよう

心のつながりで離れた場所にいる仲間を呼び、一緒に戦うことも。ここに挙げたほかにも、「ライオン・キング」のシンバや「シュガー・ラッシュ」のラルフも登場する。出現時とフィニッシュ技の演出や、それぞれの特徴を生かした攻撃も見どころだ。

▲「リトル・マーメイド」のアリエルは、水の渦の中から現れ、力を貸してくれる。

▲ドリームイーターのワンダニャンは、またがって体当たりしたあと、フィニッシュ技で大群が押し寄せてくる！

「リロ&スティッチ」のスティッチが再び登場！

▲広範囲にフィールドを張りめぐらせて、電撃でまとめて撃退する。

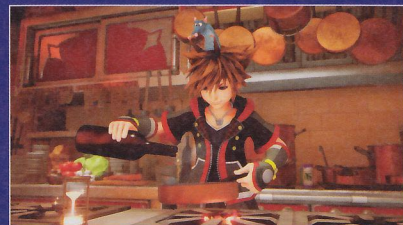
グミシップ 360°の移動が可能に

ワールド間を移動する手段として、シリーズではおなじみのグミシップもパワーアップ。バトルに特化したモードと、360°自由に移動して探索できるモードが用意されている。もちろん本体のカスタマイズも可能だ。

本格的なシューティングゲームのような完成度！

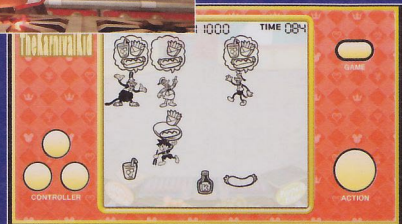
▲◀移動手段ではあるが、そのクオリティは本格的なシューティンゲームさながら。細かな演出はもちろん、背景やステージのデザインまで作り込まれている。

CHECK 多彩なミニゲームも用意！

やり込み要素として欠かせないミニゲームも魅力たっぷり！ 息抜きのつもりで手を出すと、本編を忘れるほどのめり込むことも!? ここではそんなミニゲームを2つピックアップして紹介しよう。

レミーとクッキング

◀「レミーのおいしいレストラン」から、ネズミのレミーと料理を作るミニゲームが登場。どんな料理が作れるのか、お楽しみに！

クラシックキングダム

▶なつかしの80年代風ＬＳＩゲームを複数収録。ゲームごとに異なるルールに従って画面のキャラクターを操作し、ハイスコアを目指そう。

シリーズの思い出深いシーンを
振り返りながら『KHⅢ』の見どころを探る！

Voice of the KINGDOM

電撃ＰＳで『ＫＨ』シリーズを担当してきた編集＆ライターが、思い出を語る特別企画。過去作を振り返りつつ、『ＫＨⅢ』へとつながる部分を探っていく！

●救われてほしいキャラクターが多すぎる！

編集M：いよいよ『ＫＨⅢ』の発売まであと１カ月になったけど、どんな気分？

Z佐藤：「ついにここまできたかぁ〜！」って感じですよ。１作目が2002年発売だから、もう16年もこのシリーズと付き合ってきたんですねぇ。

スズタク：僕は中学生から高校生の時期にリアルタイムで遊んでた世代なんで、『ＫＨ』＝青春みたいなところがありますね（笑）。『ＫＨⅢ』でついに完結かと思うと、涙が出てきそう……。

編集M：完結といっても、『ＫＨⅢ』ではあくまでも「ダークシーカー編」が終わるだけだから、“ひと区切り”って表現したほうがいいかな。それにしても、物語には未解決な謎が残ってるけど、現時点でとくに気になっていることとかある？

スズタク：やっぱり、“７つの光”と“13の闇”がそれぞれ誰なのかは気になるでしょ！ 『ＫＨ３Ｄ』で初めてこの言葉が出て以来、僕の頭のなかでずっとモヤモヤしてます。まあ、７つの光についてはかなり候補はしぼられると思いますけど。

Z佐藤：順当に考えると、ソラ、リク、カイリ、王様、テラ、ヴェントゥス、アクアなのかな？

スズタク：もしくは、キーブレード使いになったリアあたりも可能性があるんじゃないかと！

Z佐藤：私は、テラ、ヴェントゥス、アクアの救済がどうなるのかが気がかりです。『ＫＨ バース バイ スリープ』をプレイしてたときから、３人の救われない結末がしんどくて……（苦笑）。

編集M：その３人の動向が『ＫＨⅢ』ではポイントになってくるだろうね。

スズタク：ただ、今のところヴェントゥスはある場所で眠ってるし、アクアは闇堕ちしちゃったっぽいし、テラに関してはどこにいるのかすらわからないから、すごく苦労しそう。主にソラが！

Z佐藤：そう、とくにテラは心も身体も行方がわからない状況だから、より気になるんですよね。個人的には、ゼムナスがテラ復活のカギなんじゃないかなと思ってます。ゼムナスって、過去作でアクアの鎧に「友よ」と呼びかけたり、“目覚めの部屋”を探してたりしたから、少なからずテラの記憶が残ってたんじゃないかなと。

スズタク：とにかく、３人は救われてほしいですよね。『ＫＨ』シリーズには、テラたち以外にもロクサスとかシオンとかせつない結末を迎えたキャラクターがいっぱいいるんで……。

編集M：水を差すわけじゃないけどさ、ロクサスたちの救済って……できるのかな？

スズタク：何言ってんすか！ できるでしょ!!

編集M：いやいや、オレも救われてほしいと思う。でも、テラたちと違ってロクサスやシオンやナミネは還るべきところに還ってるというか。単独で存在するのが難しそうだから、救済するにしても方法はどうするんだろうねって話。そのあたりも『ＫＨⅢ』の見どころになるのかな？

スズタク：きっと大丈夫ですよ。「消えた心や存在も取り戻せるかも」って偉い人が言ってたし！

Z佐藤：13の闇のほうは、少しずつメンバーが判明していきましたね。『ＫＨ３Ｄ』の時点では６人だったけど、それからヴァニタスやマールーシャとかがどんどん加わっていって。

スズタク：注目したいのが13番目ですよ。『ＫＨ３Ｄ』をプレイした人なら知ってると思いますけど、13番目の器は今のところ空席なので。『ＫＨⅢ』のなかで、誰かが13番目の器のターゲットにされるでしょうから、見逃せませんよね。

編集M：XIII機関のメンバーも人間になって登場するみたいだけど、それぞれの動向が楽しみだね。真XIII機関に加入する人もいれば、リアやイェンツォみたいにソラの味方になる人もいるし。

スズタク：個人的には、機関メンバー全員の本名が『ＫＨⅢ』で判明したらうれしいですね。ああいうアナグラム、好きなので！ あと、地味にリアとアイザが少年時代に何を計画していたのかも明らかになっていない気がするので、このあたりも描かれるとうれしいですね。

Z佐藤：ほかに気になってることありますか？

編集M：オレは“黒い箱”についてかな。

Z佐藤：ああ、たしかにあれは気になりますね。

編集M：『ＫＨ キー バックカバー』で出てきた言葉だけど、『ＫＨⅢ』でも触れられてたから、何かしらつながりはあるんだろうと思ってる。

「心なき者にどうか救いの手を！」

▲せつない結末を迎えたロクサスやシオンたち。その誕生経緯ゆえに単独で存在するのは難しそう。彼らが救われる日はくる!?

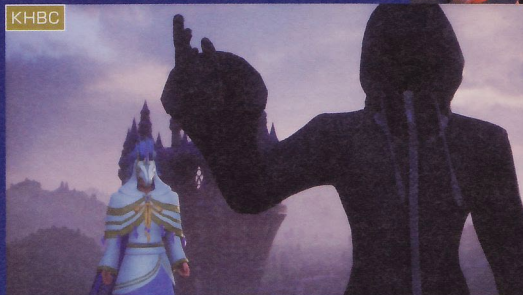
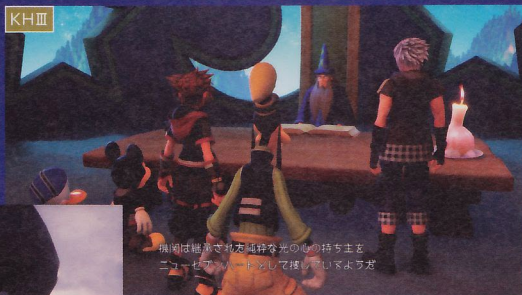
「ところ変われば姿も変わる」

▲訪れたワールドの雰囲気に合わせて、ソラたちの外見が変化。『ＫＨⅢ』でも、３つのワールドで変わるのが判明している。

「ミニゲームの規模を超えた」

▲シリーズのミニゲームの代名詞・グミシップ。最新作ではよりスケールがアップし、自由な探索もできるよう進化している。

「“7つの光”と“13の闇”は誰が該当するの?」

▶最終決戦を飾る両陣営のメンバーは、誰しもが気になるところ。7つの光はほぼメンバーが固まっているといっていいが、13の闇はまだ不明なところが多い。また、13の闇の13番目がいったい誰になるのかは、とくに注目したい。

「“サプラ〜イズ”な黒い箱の中身がひたすら気になる」

◀『KH キー バックカバー』で、マスター・オブ・マスターがルシュに預けた黒い箱。なぜかマスター・ゼアノートとマレフィセントがその存在を知っており、『KHⅢ』で行方を探している。はたして、なかに眠っているのは?

「隠しボスと戦うとHPのアラームが止まりません!」

◀プレイヤーを恐怖に陥れたセフィロスや留まりし思念。当時攻略していたZ佐藤は、戦闘不能回数を数えるのをやめた。

スズタク：情報を見る限り、マレフィセントとマスター・ゼアノートが、黒い箱を探してるみたいですね。でも、はるか昔の『KH キー バックカバー』に出てきた黒い箱の存在が、なんで『KHⅢ』の時代にまで伝わっているのか……。

編集M：そこらへんも含めて注目なのかなと。もしかしたら、ダークシーカー編のさらに先のお話に関係するネタかも?

●『KHⅢ』のやり込みボリュームは未知数!?

編集M：シリーズ経験者として2人が思い出に残ってることって何がある?

スズタク：僕は、バトル絡みで“キーブレードの変形”ですかね。変形を初めて使ったのは留まりし思念(『KHⅡ ファイナルミックス』に登場)だったと思うんですが、キーブレードをいろんな武器にチェンジさせながら戦うのを見て、敵ながらホレボレしました。その変形を『KHⅢ』ではソラが使えるだなんて大歓喜ですよ!

Z佐藤：私は、隠しボスですね。とくに、セフィロス(『KH ファイナルミックス』に登場)と留まりし思念は攻略記事でイヤというほど戦ったので、すごく記憶に残ってます。

編集M：当時、横でプレイを見てたけど、一瞬でHPゲージが赤くなってたよね(笑)。

Z佐藤：XIII機関の再現データ戦も、ヒィヒィ言いながらプレイしましたよ。きっと『KHⅢ』にも隠しボスがいるんでしょうけど、どれほどの強さなのか今からガクガクブルブルです……。

編集M：オレは、ワールドによってソラたちの外見が変わるのが印象的だったな。ただ変わるだけじゃなくて、そのワールドの秩序を保つためっていう理由付けがされてるのもおもしろかった。

Z佐藤：過去作でいろんな変身姿が見られましたけど、「ブライド・ランド」のインパクトは別格でした。とくに、リクガメ姿のグーフィーが戦闘中にクルクル回る姿が妙におもしろくて(笑)。

スズタク：『KHⅢ』でも、しっかり外見が変わりますよね。「パイレーツ・オブ・カリビアン」のワールドのソラとか、カッコよくないすか?

Z佐藤：あれは反則級にズルイ! かっこよすぎ。

スズタク：あと『KH』シリーズって、本編に負けじとミニゲームもボリュームがすごいですよね。とくにグミシップなんて、あれだけで1本のゲームとして成り立ちそうなレベルですし。

Z佐藤：グミシップも大ハマりしたなぁ。グラビガグミとかシュリケングミが好きだった。

スズタク：僕は『KHⅡ』の“アサルト・オブ・ザ・ドレッドノート”のルートで、ファイナルハンターが全然倒せなかったのが思い出です(笑)。

編集M：『KHⅡ』以降、シリーズ作品でグミシップをプレイする機会はなかったから、『KHⅢ』で久しぶりにプレイできるのはうれしい限り。

Z佐藤：公開されている情報を見るだけでも、今回のグミシップのスケールは半端なさそう。360°どこでも移動できるみたいですし、探索要素もあるとか。発売されたら、ストーリーそっちのけでグミシップばかりプレイする人とか出てきそう。

編集M：ナンバリングでミニゲームっていうと、キノコハートレスも思い出すんだよね。

スズタク：いましたね! 『KHⅡ ファイナルミックス』で大幅パワーアップして“XIIIキノコ”が登場したときは吹き出しそうになりましたよ。しかもネタ要素かと思いきや、ミニゲームでハイスコアを狙うと超ガチプレイが求められるという。

Z佐藤：『KHⅢ』には真XIII機関が出るから……。

スズタク：まさかの“真XIIIキノコ”!?

編集M：まあ、それは置いとくとして(笑)。これまでのシリーズ作もやりごたえ満点だったけど、『KHⅢ』はそれ以上のものになりそうだね。

Z佐藤：正直、やり込み要素まで含めたボリュームは未知数ですね。本編も骨太の内容ですし。

編集M：『KHⅢ』を存分に楽しむためにも過去作は遊んだほうがいいけど、そのあたりについては別の場所で話そうか(P.16の特別企画②へ)。

スズタク：できれば、スマホアプリの『KH ユニオン クロス』もプレイしたほうがいいかと! メインクエストでいろいろと衝撃のシナリオが見られるので、個人的にはプレイ推奨です。

編集M：今後もシリーズは続くだろうし、その伏線は『KHⅢ』や『KH ユニオン クロス』にあるだろうから、それぞれやり尽くしたいね。

「彼の心と身体はいずこに……」

◀ヴェントゥスやアクアと違い、行方がわからないテラ。救済までの道のりは長そう!?

「アクアがいないと救出は無理そう」

◀とある場所で眠っているヴェントゥス。彼の居場所はアクアにしかわからないので、まずはアクアを救出しないと!

▶ある意味、物語のなかで一番過酷な経験をしているアクア。闇堕ちしたと思われる彼女を救うには、ソラの力が必要!

「早く救われてくれー!」

◉『ＫＨⅢ』をより楽しむためのキャラクターアーカイブス

Character archives

光の勇者編

ここからは、『ＫＨ』シリーズのストーリーにおいて欠かせない重要キャラクターたちを紹介。まずは、シリーズ主人公のソラをはじめとした“光の勇者”たちを見ていこう。

純粋な心を持つ
キーブレードの勇者

ソラ
Sora

デスティニーアイランドで育った明るく元気な少年で、『ＫＨ』シリーズの主人公。キーブレードの勇者として過去二度にわたって世界を救う。『ＫＨⅢ』ではマスター・ゼアノートに立ち向かう。

▲▶1作目の『ＫＨ』で14歳だったソラは、作品をへて現在は15歳。多くの旅のなかで、身も心も成長していく姿が確認できる。

つながる心 ▶ 友だちとのキズナを力に闇と戦う

伝説の武器・キーブレードの使い手であるソラだが、本人に特別な能力はなく、本来はキーブレードを扱える人間ではなかった。しかし、友だちとのキズナを大切に思う心の強さが影響し、キーブレードの勇者に選ばれることに。この“つながる心”がソラの最大の武器であり、『ＫＨⅢ』でも重要なカギに!?

◀純粋な心の強さを持つがゆえに、光の勇者に選ばれたソラ。

コスチューム ▶ 作品ごとに見た目が異なる

ソラの衣装は作品ごとにデザインが変わってくる。ナンバリングタイトルで下のように異なってくるが、見た目が変わるところも見どころの1つ。

ロクサス ▶ ソラと切っても切れない関係

ソラのとある行動がきっかけで生まれた少年・ロクサス。かつての旅で彼との関係に決着はついたが、『ＫＨⅢ』でロクサス復活の可能性は……?

“ソラに連なる者”の1人

▲ある意味、ソラと一番つながりが深いといえるロクサス。

ソラの親友

リク
Riku

ソラの親友の少年。外の世界へのあこがれから離ればなれになったが、旅のなかで再会を果たし、ソラとともに闇の勢力との戦いに挑む。

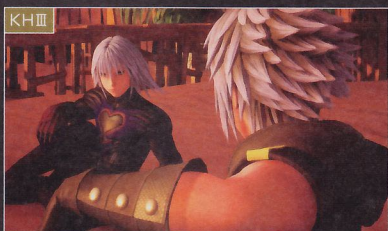
▲離ればなれになっても、友を想って陰ながら行動してきたリク。

アンセム ▶ かつて自身の肉体を乗っ取られてしまう

リクは過去に闇の探究者アンセムに肉体を乗っ取られ、その身に闇を宿してしまう。以降、何度も内なる闇に苦しんできたが、現在は克服している。

◀肉体を乗っ取られて以来、内に潜むアンセムがたびたび登場し、リクと激闘を繰り広げてきた。

レプリカ ▶ 自分とうりふたつの存在

ⅩⅢ機関によって生み出されたリク＝レプリカ。忘却の城の冒険でリクに敗北して消滅した存在だが、『ＫＨⅢ』で再登場をにおわせる場面が……!?

◀砂浜に座るリク＝レプリカらしき人物。彼はいったい何を思う?

ソラとリクの
幼なじみ

カイリ
Kairi

ソラやリクと一緒に育った少女。光の世界を支える“セブンプリンセス”の1人で、『ＫＨⅢ』ではキーブレードの使い手としてソラとともに歩む。

ナミネ ▶ ソラとつながる“カイリの影”

ソラにとってのロクサスのように、カイリにはナミネという深いつながりを持つ少女がいる。ナミネとの関係も、過去の旅で決着がついているが……?

◀ソラと、ソラに連なるものの記憶を操作できる力を持っていた。

世界を見守る
偉大な存在

王様 *King Mickey*

ディズニーキャッスルの王で、光の世界全体の平和を見守ってきた人物。キーブレード使いの1人であり、これまでの戦いを通じてソラやリク、ヴェントゥスやアクアたちと固いキズナで結ばれている。

▲正義感が人一倍強く、友だちの危機に幾度となく駆けつける。

イェン・シッド ▸ 偉大な魔法使いのもとで修行に励む

王様が持つ強さは、魔法使いのイェン・シッドのもとで修業したたまもの。過去作では、王様がまだ修行に励んでいたころのシーンも確認できる。

楽譜の世界で大騒ぎ!?

◀修業時代の王様は、師匠の留守中に魔法を使って騒ぎになることも。

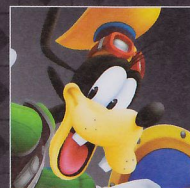
◀修行中に外の世界に飛び出し、ヴェントゥスやアクアと出会う。

ちょっぴり短気な
王宮魔導士

ドナルド *Donald*

ディズニーキャッスルの王宮魔導士で、ソラの旅の仲間。怒りっぽいのが玉にキズで、ソラともたまに衝突するが、根の部分では深いキズナがある。

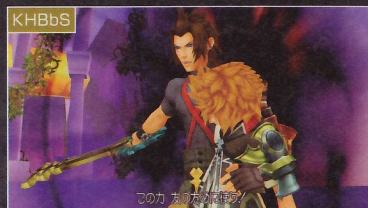
のんびり屋な
王宮騎士隊長

グーフィー *Goofy*

ディズニーキャッスルの王宮騎士隊長で、ドナルドとともにソラと旅してきたムードメーカー。のんびりとした人物だが、ときおり鋭い発言を見せる。

心の奥に闇を抱える
生真面目なキーブレード使い

テラ *Terra*

マスター・エラクゥスの弟子であり、旅立ちの地で修業に励む青年。優れた実力を持つキーブレード使いだが、心の奥に闇を抱えているせいで、キーブレードマスターとして認められなかった。外の世界を旅するなかでゼアノートの策略に巻き込まれ、ゼアノートに身体を奪われてしまう。

◀友を想うまっすぐな心の持ち主だが、それゆえに心の奥底に闇が芽生える。

マスター・ゼアノート ▸ 悪しきキーブレードマスターに利用される

心の闇に悩むテラは、マスター・ゼアノートの助言に励まされて彼を信頼していく。彼が、テラの肉体を狙っているとも知らずに……。

マスター・ゼアノートの器と化す!

▲▶マスター・ゼアノートに身体を乗っ取られたテラは、アクアと激突。戦いの末、テラの心は現在までどこにあるかわからない状態となる。

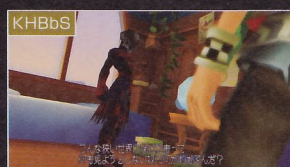
キーブレードマスターを目指して
修行を積む少年

ヴェントゥス *Ventus*

テラやアクアとともに、旅立ちの地で修業をする少年。テラのあとを追いかけて外の世界に飛び出し、マスター・ゼアノートの陰謀にほんろうされていく。仮面の少年・ヴァニタスとの激闘をへて、ある場所で深い眠りについている。

▲兄のように慕うテラの身を案じ、1人外の世界へ。

ヴァニタス ▸ 自らの半身と呼べる存在

ヴェントゥスの心から取り出された闇が具現化した存在、ヴァニタス。かつてχブレードを完成させるためにヴェントゥスと戦って消滅したが、『KHⅢ』では闇の陣営の一員として再登場する!?

◀ヴェントゥスの分身といえる存在。その仮面の下の素顔は……。

心の強さと他者への優しさを
あわせ持つ気丈な女性

アクア *Aqua*

マスター・エラクゥスの弟子の1人。光の勇者にふさわしい心と腕前を持ち、師からキーブレードマスターとして認められる。マスター・ゼアノートの計画を阻止するために死闘を繰り広げ、闇の世界に閉じ込められてしまう。

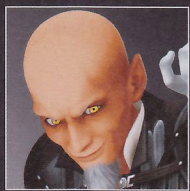
▲彼女を支えるのは、テラやヴェントゥスとのキズナ。

闇の世界 ▸ 友を守るためにアクアが選択した道

テラの肉体を奪ったマスター・ゼアノートと戦った際、闇の世界に落ちかけたテラを救うためにアクアは自分を身代わりにする。その後、闇の世界での冒険をへて、現在も闇の深淵をさまよっている。

◀闇の世界を孤独にさまようアクア。彼女を救えるのはソラだけ!

闇の探求者編

続いて、ソラたちと敵対する闇陣営のキャラクターたちをチェック。マスター・ゼアノートとそれに連なる者、物語上で重要なⅩⅢ機関などの存在をみていく。

闇に魅入られたキーブレード使い

マスター・ゼアノート

Master Xehanort

これまでの物語の黒幕。もともとは優れたキーブレードマスターだったが、光と闇の均衡をとるために危険な野望を計画。『ＫＨⅢ』では“真ⅩⅢ機関”を率い、光の勇者たちの前に立ちはだかる。

▲壮大な野望を成就させるため、10年以上にわたって暗躍する。

キーブレード戦争

3人の若者を巻き込んで伝説の再来をもくろむ

マスター・ゼアノートの目的は、伝説のキーブレード戦争を起こして世界を闇で覆うこと。そのためにかつてテラたち３人の若者を巻き込み、χブレードの創生と、老いた肉体の代わりとなる若い器の入手をたくらんだ。

◀光と闇の完璧な均衡を求めるあまり、しだいに闇に心を染めていく……。

マスター・エラクゥス

同じ師のもとで学んだ兄弟弟子

マスター・ゼアノートは、テラたちを育てたマスター・エラクゥスの兄弟弟子でもある。『ＫＨⅢ』では、若き日の彼らが光と闇について語るシーンがあるので、注目しておきたい。

◀光が正義と信じるマスター・エラクゥスとは、過去に信念の違いから衝突している。

青年ゼアノート

過去の自分も野望に利用する

マスター・ゼアノートはこれまでの物語のなかで時を超える力を手に入れ、それを使って若い頃の自分をも仲間にしている。青年ゼアノートの動向は、『ＫＨⅢ』のなかでも見逃せないポイントだ。

◀青年ゼアノートは未来の自分から指示を受け、物語の裏でひっそりと暗躍していく。

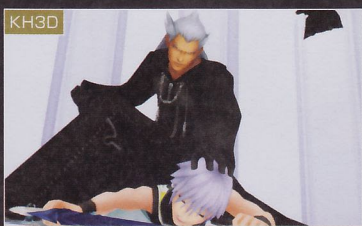
世界の心のキングダムハーツを狙った闇の探求者

アンセム

Ansem

ゼアノートのハートレス。かつてリクの身体を奪い、“世界の心のキングダムハーツ”へ通じる扉を開こうとしたが、ソラたちによって倒された。その後、マスター・ゼアノートが率いる“真ⅩⅢ機関”の１人として復活する。

弟子 ▸ もともとは賢者アンセムの弟子の1人

心の研究者である“賢者アンセム”の弟子だった、ゼアノート。彼は師を裏切って無の世界に追放したのち、心を捨ててハートレスへ。そして師の名前を使った“闇の探究者アンセム”を名乗り、ソラたちの前に立ちはだかる。

◀ハートレスだが、その姿は人間時の面影を残している。

人の心のキングダムハーツを作ろうとした虚無の支配者

ゼムナス

Xemnas

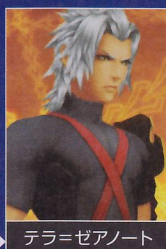
ゼアノートのノーバディ。賢者アンセムの元弟子たちを中心にⅩⅢ機関を結成し、“人の心のキングダムハーツ”を作ろうとしたが、ソラとリクに倒された。その後、アンセムと同じように“真ⅩⅢ機関”の一員として復活。

ⅩⅢ機関 ▸ 強力なノーバディたちのリーダーとして君臨

ゼムナスは強力なノーバディを集め、ⅩⅢ機関として束ねる。その目的は“人の心のキングダムハーツ”との一体化だったが、裏の狙いはマスター・ゼアノートの分身となる“13の闇の器”をそろえることだった。

◀キーブレード使いを利用して心を集めていたゼムナス。

CHECK マスター・ゼアノートとアンセムやゼムナスの関係

『ＫＨ』や『ＫＨⅡ』で黒幕的存在だったアンセムやゼムナスは、テラの身体を奪ったマスター・ゼアノートから派生した存在。テラ＝ゼアノートが心を捨ててハートレス化した姿がアンセム、心を失くした肉体がノーバディ化した姿がゼムナスとなっている。テラの存在が混ざっているものの、これらの人物たちはほぼ“ゼアノートの分身”と呼んでいい。

暗躍するノーバディの集団“XIII機関”

ゼムナスをリーダーに、各地で暗躍してきたXIII機関。『ＫＨⅢ』では、彼らが人間に戻った姿が登場するので要チェックだ。

機関の初期メンバー（賢者アンセムの弟子たち）

No.2 Xigbar
シグバール
眼帯が特徴の機関古参メンバー。人間時代からマスター・ゼアノートに接触し、計画に加担している。

No.3 Xaldin
ザルディン
大柄な外見にふさわしい武人。戦闘だけでなく話術も堪能で、言葉たくみに相手を誘導する。

No.4 Vexen
ヴィクセン
データ収集を好む、プライドの高い研究者。忘却の城でリクに目をつけ、リク＝レプリカを作る。

No.5 Lexaeus
レクセウス
筋骨隆々とした寡黙な豪傑。必要最小限のことしか口にせず、自分の意志は行動で示そうとする。

No.6 Zexion
ゼクシオン
初期メンバーのなかでは最年少の青年。言葉づかいはていねいだが、本性はズル賢い策略家。

No.9 Demyx
デミックス
自ら戦いは苦手と公言する、ノリが軽い青年。表情豊かに見えるが、どこかつかみどころがない。

No.7 Saix
サイクス
ゼムナスからの信頼が厚い、機関の参謀役。メンバーのなかでも、とくに感情の起伏を表に出さない。

No.8 Axel
アクセル
ひょうひょうとしており、腹の底を見せない青年。機関の計画より己の目的を優先して行動する。

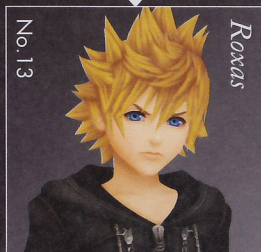
No.11 Marluxia
マールーシャ
ゼムナスから忘却の城の管理を任された実力者。ナミネを使って機関を乗っ取ろうとたくらむ。

No.12 Larxene
ラクシーヌ
美しい容姿だが、性格は高飛車で冷酷な紅一点。マールーシャと組んで機関への反逆を計画する。

忘却の城へ派遣されたメンバー

かつての親友

親友？

No.10 Luxord
ルクソード
ゲームを楽しむかのように戦いに挑むギャンブラー。常に余裕に満ちた紳士然とした態度を見せる。

No.13 Roxas
ロクサス
キーブレードを操る特殊なノーバディの少年。ほかのメンバーと違い、人間のときの記憶がない。

No.14 Xion
シオン
謎に包まれた14番目のメンバー。ロクサスと同じく、心の力の象徴であるキーブレードを扱える。

CHECK XIII機関のメンバーは人間のときの面影を残してノーバディ化している

ノーバディは、心を失った人間の肉体から生まれるもので、そのほとんどは白い怪物の姿。しかし、強い心の持ち主がノーバディになると人間時の面影を残すようになり、XIII機関はそういったノーバディで構成されている。なお、1人の人間から分離したハートレスとノーバディの両方が倒されると、もとになった人間は復活。これにより、機関員の多くは復活を遂げている。

◀レクセウスが消滅したことで、人間として復活したエレウス。

KHBbS
覚悟はできてるみたいだな

◀アクセルとサイクスの人間時代。当時の2人は親友だったようだ。

◉ストーリーの全容を理解するために

History of KINGDOM HEARTS

「ダークシーカー（闇の探究者）編」と呼称される一大ストーリーが、数多くの作品にわたって描かれてきた『ＫＨ』シリーズ。まもなくやって来る『ＫＨⅢ』に備え、各作品を時系列にそっておさらいしよう！

物語の流れ

キングダム ハーツ ユニオンクロス

●iOS/Android ●2015年9月3日配信
●PCブラウザ版（『KH キー』）：2013年7月18日配信（現在は配信終了）
●PS4 HD映像作品版（『KH HD 2.8 ファイナル チャプター プロローグ』収録『KH キー バックカバー』）：2017年1月12日発売

シリーズ最古の物語がここに——

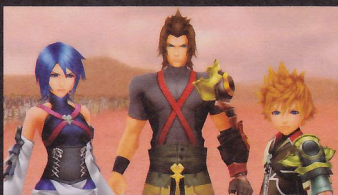
はるか昔に起こった、『ＫＨ』シリーズの始まりの物語が描かれる作品。キーブレード戦争の先につむがれた、“ダンデライオン”たちのエピソードが明かされる。

長い年月

キングダム ハーツ バース バイ スリープ

●PSP ●2010年1月9日発売
●PSP『ファイナル ミックス』版：2011年1月20日発売
●PS3版（『KH HD 2.5リミックス』収録）：2014年10月2日発売 ※PS4版は下段参照

キーブレードマスターを目指す３人の若者の運命が動く

１作目の約10年前に起こった、３人のキーブレード使いたちの物語。マスター・エラクゥスのもとで修行するテラ、ヴェントゥス、アクアのそれぞれのエピソードが描かれる。マスター・ゼアノートの忌まわしき陰謀は、ここから始まった……！

◀▲３人の若者はそれぞれ思惑を秘め、闇の魔物・アンヴァースがはびこる外の世界へ！

約10年後

キングダム ハーツ

●PS2 ●2002年3月28日発売
●PS2『ファイナル ミックス』版：2002年12月26日発売
●PS3版（『KH HD 1.5リミックス』収録）：2013年3月14日発売 ※PS4版は下段参照

友だちとの再会を目指してソラの冒険が始まる！

シリーズの原点となる１作目。故郷を闇に飲まれた少年・ソラは、その事件で幼なじみのリクやカイリと離ればなれになってしまう。友だちとの再会を誓い、ドナルドやグーフィーと一緒にソラはさまざまな世界を旅していく。

CHECK これまでのシリーズ作はPS4ですべてプレイ可能！

『ＫＨ』シリーズの作品はほぼすべてＨＤリメイクされており、ＰＳ４があれば丸ごとプレイできる。対象となるタイトルは、過去にＰＳ３で発売された２作のＨＤリミックスをまとめた『ＫＨ HD 1.5+2.5リミックス』と、『ＫＨ HD 2.8 ファイナル チャプター プロローグ』の２作品。この２作品があれば、６つのゲームと３つの映像作品を楽しむことができ、『ＫＨⅢ』への予習はバッチリ。年末年始に、ぜひプレイしてほしい！

■『KH HD 1.5+2.5リミックス』収録作（2017年3月9日発売）

- ●ＫＨ ファイナルミックス
- ●ＫＨ Re:チェイン オブ メモリーズ
- ●ＫＨ 358/2Days
- ●ＫＨⅡ ファイナル ミックス
- ●ＫＨ バース バイ スリープ ファイナル ミックス
- ●ＫＨ Re:コーデッド

■『KH HD 2.8 ファイナル チャプター プロローグ』収録作（2017年1月12日発売）

- ●ＫＨ ドリーム ドロップ ディスタンス HD
- ●ＫＨ 0.2 バース バイ スリープ -フラグメンタリー パッセージ-
- ●ＫＨ キー バックカバー

◀シリーズの歴史を詰め込んだおトクな作品なので、ＰＳ４を持っている人はお見逃しなく！

▶どちらのタイトルにも映像作品が収録されており、見どころ満載のムービーが楽しめる。

CHECK スマホで展開中の『KHユニオンクロス』にも注目！

2015年にサービスを開始した『ＫＨ アンチェインド キー』が、2017年に改名されて誕生した『ＫＨ ユニオン クロス』。スマホアプリならではのお手軽な操作で爽快なバトルが味わえるほか、ファンなら見ておきたいシナリオも展開している。今後もサービスが続くので、これを機にレッツプレイ！

主人公はキミ自身！

◀プレイヤーはキーブレード使いとなり、自分好みのアバターをカスタマイズしてゲームの世界に入れる。

◀メダルを使ったバトルは、ド派手な演出が盛りだくさん！

キングダム ハーツ 358/2Days

●DS ●2009年5月30日発売
●PS3 HD映像作品（『KH HD 1.5リミックス』収録）：2013年3月14日発売 ※PS4版はP.14下段参照

XIII機関の一員となったロクサスの358日間の物語

XIII機関のメンバーである、ロクサスを主人公にした作品。機関の一員となったロクサスは、教育係のアクセルや新メンバーのシオンと友情を深めていく。しかし、明るみになっていく衝撃の事実を前に、３人の歯車は少しずつ狂い……。

キングダム ハーツ チェイン オブ メモリーズ

●GBA ●2004年11月11日発売
●PS2版（『KHⅡFM+』収録『KH Re：チェイン オブ メモリーズ』）：2007年3月29日発売
●PS3版（『KH HD 1.5リミックス』収録）：2013年3月14日発売 ※PS4版はP.14下段参照

忘却の城でつむがれるソラとリクの戦いの記憶

ソラ編とリク編の２つのエピソードを収録した作品。闇の探究者アンセムとの戦いを終えたあと、ソラたちは忘却の城と呼ばれる建物にたどり着く。そこは、何かを手に入れる代わりにほかのものを失う場所だった。

キングダム ハーツⅡ

●PS2 ●2005年12月22日発売
●PS2『ファイナル ミックス』版（『KHⅡFM+』収録）：2007年3月29日発売
●PS3版（『KH HD 2.5リミックス』収録）：2014年10月2日発売 ※PS4版はP.14下段参照

XIII機関を相手にソラは再び世界を救う旅へ

１作目から約１年たって成長したソラが、ドナルドやグーフィーとともに冒険を再開。世界を脅かすハートレスとノーバディ、そして“キングダムハーツ”を狙うXIII機関から世界を守り、親友リクと一緒に故郷へ帰るためにソラは奔走する。

キングダム ハーツ 3D[ドリーム ドロップ ディスタンス]

●3DS ●2012年3月29日発売
●PS4版（『KH HD 2.8 ファイナル チャプター プロローグ』収録）：2017年1月12日発売

ソラとリクのマスター承認試験がスタート

ゼムナスとの激闘後、ソラとリクの次なる旅を描いた作品。きたるマスター・ゼアノートとの戦いに備え、ソラとリクは夢の世界を舞台にしたマスター承認試験を受ける。だが、その先にはマスター・ゼアノートの魔の手が忍び寄っていた。

◀眠りに閉ざされた世界へ飛び込むリクたち。

◀夢の世界でソラたちを待つ出会いとは!?

約1年後

少しあと

少しあと

少しあと

直後

キングダム ハーツ コーデッド

●NTTドコモFOMA
●2009年6月3日配信（現在は配信終了）
●DS版（『ＫＨ Ｒｅ:コーデッド』）：2010年10月7日発売
●PS3 HD映像作品（『KH HD 2.5リミックス』収録）：2014年10月2日発売 ※PS4版はP.14下段参照

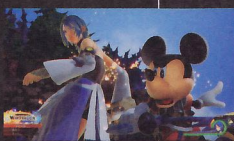
データの世界を大冒険！

旅の記録が書かれたメモに、謎のメッセージを発見した王様たち。その謎を解明すべく、王様たちはデータのソラに調査をたくす。

キングダム ハーツ 0.2 バース バイ スリープ -フラグメンタリー パッセージ-

●ＰＳ４ ●2017年1月12日発売

『ＫＨⅢ』のプロローグ

夢の世界の旅を終えた一同は、決戦に向けて動き出す。一方、かつて闇の世界に取り残されたアクアは……。

※ゲーム部分は『ＫＨ バース バイ スリープ』の直後の出来事が描かれる。

？

初めて『KH』シリーズをプレイするなら どの作品から遊ぶのがいいの？

本誌記事を担当する編集＆ライターが、これから『ＫＨ』シリーズの世界に飛び込もうと考えているみなさんにアドバイス！　発売日まであと１カ月、準備を万全に整えておこう。

●発売日まで残された時間はあと１カ月！

編集M：いよいよ『KHⅢ』の発売まで約１カ月。『ＫＨ』シリーズは作品数が多いから、よく「これから始めるなら、どの順番でプレイすればいいの？」ってことを聞かれるんだけど、もはや『KHⅢ』発売までに全作品をプレイするのは困難でしょ!?　そこで、今日からシリーズ初挑戦の人がプレイを始めるにあたって、どんな準備をするのがベストかをアドバイスしてもらおうか。

Z佐藤：お正月休みを最大限使ったとしても、残り１カ月で16年にも及んだ作品すべてをプレイするのは無理ゲーですよね。とくに今の社会人は時間がなくて悲鳴を上げてる人も多いですし……。

編集M：時間がない現代人のために、なにかしらの提案をするのが我々のお仕事ですから！

●自分のペースで少しでも知識を蓄えよう！

編集M：幸いなことに全部入り『ＫＨ インテグラム マスターピース』を購入すれば、シリーズ全作品がＰＳ４で遊べるので、かなり助かるかと。

スズタク：しかもダウンロード版なら、『ＫＨⅢ』以外のタイトルをすぐにダウンロードしてプレイできますしね。今日、それを購入したとして、さてどうします？

Z佐藤：作品多いですからね。いさぎよく『ＫＨⅢ』の発売を待つのも手かと！

スズタク：いやいやいや……。せっかく購入したんだからプレイしましょう。１カ月ってわりと時間がありますよ。『ＫＨ ファイナルミックス』『ＫＨ Re:チェイン オブ メモリーズ』『ＫＨ 358/2 Days』『ＫＨⅡ ファイナルミックス』と進めるのがいいと思いますけど。

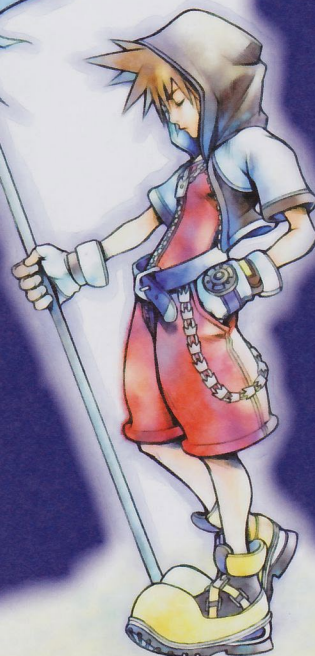
Z佐藤：まったく時間に余裕がないなら『ＫＨⅢ』を遊んでみて、そこから振り返る形で過去作をプレイしていくのもいいんじゃないのかと。

編集M：最低限の準備をしたいというのなら『ＫH0.2』をプレイすることを提案したいところ。グラフィック的にもシステム的にも『ＫＨⅢ』に一番近いからわけだし。もう少し基礎知識を増やしたいなら、P.14～15で紹介している映像作品だけでも見ておくとか？

スズタク：映像作品はわりと重要ですね。シオンのことがわかりますし、ほかにもマレフィセントとピートが探している“黒い箱”のこととか。

Z佐藤：そのあとにまだ時間的な余裕があるなら、ナンバリングの『KH』『KHⅡ』だけでもプレイしていくとよいかと。

編集M：盛り上がり過ぎて、『ＫＨⅢ』の発売日に体調を崩すことのないように！

Z・スズ：りょ、了解しました!!!!!

クライマックスを迎える『KHⅢ』をさらに楽しむには？

▲黒い箱を探しているマレフィセントとピート。映像作品の『ＫＨ キー バック カバー』にヒントが隠されている？

▶『KH』シリーズの主人公であるソラ。彼の冒険がクライマックスを迎える『KHⅢ』をより楽しむべく、事前知識を得ておきたい。

結論

CASE. 1

時間に余裕があるなら

全作品をプレイ

当然ながら、全作品をプレイしていれば準備は万全。『KHⅢ』で明らかになるであろう、これまでの伏線なども十分に楽しむことができるはず。作品数は多いので時間に余裕がある人向け。

ソラの旅立ちからスタート

CASE. 2

少しでも知識を備えたいなら

映像作品＋『KH0.2』をプレイ

『ＫH0.2』は、物語の時系列は『ＫＨ バース バイ スリープ』直後だが、『ＫＨⅢ』のプロローグとなる作品で、数時間でクリアも可能。映像３作品は、時間があまりない人でもチェックしやすい。

システムの根幹は『KHⅢ』と同じ

CASE. 3

時間にまったく余裕がないなら

『KHⅢ』まで待機

もちろん予備知識なく『ＫＨⅢ』をプレイしても問題なく楽しめるはず。世界観が気になったら、過去作に挑戦してみては？　全作品を収録した『ＫＨ インテグラム マスターピース』がお買い得。

『KHⅢ』が初でもOK！